

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度 第4回 所沢市環境審議会
開 催 日 時	平成26年11月17日(月) 14:00~16:00
開 催 場 所	市庁舎 全員協議会室
出席者の氏名	岡田久典、毛利吉成、針谷さゆり、加藤武祥、内田 勉、 足立圭子、中 義直、平岩秀隆、菊一敦子、岩崎 登、島村三郎、 坂根裕子
欠席者の氏名	臼井雅子、山野 均、喜多川通代
説明者の職・氏名	
議 題	1 開 会 2 議 事 (1) 第2期所沢市環境基本計画 改訂版(素案)について 本編 所沢市地球温暖化対策実行計画 (2) その他 3 閉 会
会 議 資 料	・ 次第 ・ 資料4-1 第2期所沢市環境基本計画 改訂版(素案) ・ 資料4-2 主な変更箇所と変更内容 ・ 資料4-3 所沢市地球温暖化対策実行計画へのご意見とその対応 ・ 参考資料 改訂スケジュール
担 当 部 課 名	環境クリーン部 部 長 桑原 茂 環境クリーン部 次 長 越阪部 孝夫 環境対策課 参 事 大澤 稔 みどり自然課 参 事 関谷 佳和 資源循環推進課 課 長 大野 義彦 環境総務課 課 長 大館 真哉 主 幹 並木 和人 主 査 肥沼 克年 主 事 中林 謙太 環境クリーン部環境総務課 電話 04 - 2998 - 9133

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	開会・あいさつ
会長	あいさつ
事務局	<p>出席者の確認、臼井委員、喜多川委員、山野委員欠席。審議会規定より過半数の出席により会議の成立を確認。傍聴者はなし。資料の確認。</p> <p>議題（１）第２期所沢市環境基本計画改訂版（素案）について 本編 資料４ - １、４ - ２に基づいて説明した。</p> <p>質疑応答</p>
委員	<p>内容がびっしりと書かれているが、これをすべて読んでもらえるのか。題名が第２期所沢市環境基本計画となっており、開くと目次で第１章「計画の基本的事項」から３章「施策の展開」、４章「地球温暖化対策の推進」、５章「計画の推進」となっており、どこを読めば計画の概要がつかめるのか分かりにくい。分かるように見出しにしてもらった方がいいのではないか。</p> <p>たとえば、前半に総論、後半を各論にすれば、ポイントをみて大方つかめる。そうすれば最初から最後まで目を通さなくても内容が分かるという書き方だとありがたいと思う。目次の見出しで分かるようにすること、「環境基本計画」というページを１ページでも作ってあれば、それに対してページを開いていくと内容が分かるという構成にした方が読者が読み込んでいくのではないか。そういった工夫をして頂きたい。</p>
事務局	<p>厚い冊子ということで恐縮でございます。目次で「計画の」という表記が並んでいて分かりづらいということでございますが、冊子そのものが環境基本計画でございます。その内容については、p.10に計画の構成があるので全体を示すものとして載せています。現状は更新中だがこちらを参照願います。概要については、本編とは別に、概要版で全体の把握をお願いします。</p>

委員	<p>では、p.10 を最初にもってきてもらえるといいのではないか。時間がない人はそれを見るだけで計画が把握できる。これを探るのは大変なので、かいつまんで項目だけでも最初に書いてあるとうれしい。</p>
副会長	<p>素案には市長のあいさつなどは盛り込まれていないが入ってくるのか？こういうところで、大柱など大きな方向性や考え方が示されるのか。</p>
大館課長	<p>「はじめに」といった文章は製本する段階で市長にお願いいたします。本書の策定目的や方向性もかいつまんで話して頂き、分かりやすい形にいたします。また、本書を見やすくという話についても、色づかいや目次への工夫をさせていただき、分かりやすくしたいと思います。</p>
会長	<p>全体の構成は、まだ工夫をされるということと、各委員からの意見の反映をお願いしたい。</p>
委員	<p>今さらこのような質問は不適切かもしれないが、基本計画のあり方は概要を示してこう取り組むということだが、実際の実施計画が大切だと思う。これについては、一番最初にも説明頂いたと思うが、各事業の実施計画との関連性、基本計画があってそこから派生する取り組みなど、そのあたりのことについては？</p>
事務局	<p>素案の p .6 , 7 をご覧ください。環境基本計画の位置づけという図があるが、市の政策は総合計画に基づいて行われております。その環境に関する部分を担うのが環境基本計画であり、そこで市の環境行政の方向性を示しております。この方向性に基づいて進めていく取り組みについて、左にある総合計画が3層で基本構想、基本計画、実施計画となっており、総合計画の実施計画の中に環境面における取り組みが位置づけられるという形になっております。実施計画は毎年見直しをしていくこととなります。</p>
委員	<p>実施計画というのはそれなりに環境基本期計画と連携してまとまっているものなのか。</p>

事務局	毎年更新して公表しておりますので、連携しております。
会長	他に意見がないようなので、次の議題に移ります。 所沢市地球温暖化対策実行計画改訂版(素案)について事務局より説明をお願いします。これは前回審議会後に各委員からご意見を頂き、それらをとりとめた資料が4-3であり、量が多いので前半後半で分けて説明いたします。なお、指標項目に関する意見も入っているが、これに関しては前回審議しており、各取り組みに関する留意事項という位置づけとなっているので、所管課に事務局を通じて伝えるということで今回は議論から外させていただきます。
事務局	所沢市地球温暖化対策実行計画改訂版(素案)について前半部分を資料4-3に基づいて説明した。 質疑応答
委員	資料4-3の2を提案したのは、事業者の部分で含み、整理を行うとのことだが、さまざまな主体が連携していくことの重要性を考え、より具体的にその主体の例示を記載する提案をした。
会長	今の意見について、様々な主体が関わりながら取り組むことが最も重要であることのひとつであることを踏まえて頂き、様々な主体が関わっていくということが分かるような表現に努めてもらいたい。他にないか。
委員	長期目標の80%削減は可能なのか。
事務局	かなり高めの設定になっております。ただ、今回の改訂においては、平成19年度時点の排出係数で固定し、比較をするというものでございます。
委員	この数字については以前も質問したが、積み上げた数字ではなく、野心的な目標を国が出してくれという話だからという回答であったがそれでいいのか。

大館課長	その通りです。80%の削減については、それを削減するための計算を行っている状況ではなく、野心的な目標を掲げております。
会 長	80%というのは、私も国際会議などにも関わっているが、先進国としてのひとつの責任として求められている。また 2050 年の目標としては社会システムや様々な問題をひとつひとつ解決するという中で新しい展望を開く必要がある。現状としては難しいがひとつは責任、もうひとつは進歩していくべきということで長期的にはこの数値でいいと解釈している。
委 員	先進国の責任ということですが、そうすると先ほどの委員の発言は事業者として主体をまとめるのではなく、残したほうがいいのでは？行政だけでも事業者だけでもやりきれない。いろんな人がやらないと到達できないと思う。色々な主体というのが事業者というのは少し違うのでは。
事務局	実行計画のところでは、おっしゃる通り様々な主体が取り組みに協力いただかないと達成できないと思います。記載については、実行計画は環境基本計画本編のなかに含まれているので、そちらの中に市民事業者などの表記がところどころあり、事業者の中で大学・NPO といった様々な主体を整理するといった形をとらせていただいております。影響のないところについては、他の主体を書き込めるか今後検討いたします。
会 長	なるべく前向きに検討してほしい。他になければ後半部分の説明に移ります。
事務局	所沢市地球温暖化対策実行計画改訂版(素案)について 後半部分を資料 4 - 3 に基づいて説明した。
	質疑応答
委 員	重点項目には星印をつけるという書き方だが、星だけではなく色を変えたほうが見やすくなるのでは。
事務局	出来栄をみて考えさせていただきます。

<p>委員</p>	<p>全体的な話として、PDCAの論理でどのようにチェックし管理して解決していくのかという中で、なにがどうであったかをどう評価するのかというのが重要。</p> <p>今まで聞いた中では、各セクションの部長が評価すると聞いたが、一人でできるのか。委員会などを開いてみんなで、最初と中間と最後の進捗を踏まえながら確認する必要があるのではないか。その中でどこまでできたのか、やり残しはどこなのか、それを次期の計画に活かしていくという話になる。</p> <p>それがないとまた一から文章をどうするかという話ばかりになる心配がある。実質の計画の検討がどうなのかを各担当が煮詰めていくということを是非してもらいたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>ごもっともだと思います。現在は、本計画の目標指標に関する達成度は各課で○と×で判別しております。そして×の場合は、原因分析と対策を所管からあげるようになっております。それをとりまとめているのが「所沢市の環境」でございます。それが公表される前に環境基本計画推進委員会と推進会議という課長級、部長級会議で審議をさせていただいております。今後も、そのような形にさせていただきます、作成した計画が回っていくように心がけていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>その中に課長、部長はおいといて、現場の担当者の意見を入れてほしい。形式的な会議ではなく現場の声を吸い上げてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>原案を作る段階では若手が作成しております。今後も心がけていきたい思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今の質問に関連して、私見だが環境問題はさまざまな行政にリンクしていると思う。環境が調整役にならないと回らないという思いでやってもらいたいと思う。所沢市総合計画が基本にあって、それぞれの基本計画があると思うが、環境があって経済がしっかりまわるという、経済との連携を考えるべき。市長の考え方もあると思うが環境部が全体の調整機関の役割を担ってやっていくセクションではと期待している。</p>

委員	<p>資料4 - 3の14番の委員の質問に対する回答について、温暖化はまったなしと言いつつ、カーシェアリングが前提にある。所沢は平坦地が多いから自動車でなく自転車で移動することを基本線にしてもらいたい。また、ところバスの路線を検討してもらいたい。これは環境部の所管ではないかもしれないが温暖化対策のために路線バスを検討するという事を入れていただけるとありがたい。</p>
事務局	<p>趣旨を踏まえて、担当課にお伝し実現に努めたい。</p>
委員	<p>463バイパスの際に住んでいる。環境部が調べている公害などを生活の中に受けながらいる。463バイパスの両脇に歩道がある。今の意見に関係するが、その歩道が最初から最後まで幅が違うため、使いづらい。自転車と歩行の記号がついたが、そこにイチョウの木が植わっている。生活している人間にとってはそれを掃除しなくてはならない。少子高齢化の中で老人が増えていく中で、それを毎日掃かないといけないということになっている。落葉樹ではなく針葉樹を選んでほしい。みんな苦労している。ぜひ環境という意味で考えてほしい。</p> <p>それと両側に大きな宅地の地所を所有している人も一部いて、誰も樹木の手入れをせず、歩道側に伸びている。そうすると自転車で通ったりマラソンする際に事故が起こってしまうので、両脇の宅地を所有している地主に木を刈ってもらうようにしてほしい。</p>
大館課長	<p>宅地から枝が伸びて通行の妨げになっているということだと、市の道路維持課が指導し、所有者の方に確認を取った上で伐採して対応しております。そういった場所があるのであれば、具体的に教えていただければ、対応が可能だと思います。また、街路樹の話について、常緑で、常に緑があったほうがいいというご意見だったが、一方で別の意見もございます。夏は葉が影を作り、冬は葉がなくなることで日を浴びることができるというところで落葉のほうが街路樹に適しているという意見を持つ人も様々いると聞いております。私も、463バイパスの近くに住んでいるがそこは小さなイチョウが等間隔に植えられておりますが、あまり大きく邪魔になっていないのかなという印象でございます。</p>

委員	それはあなたのように遠くにいる人が眺めているだけの話で、生活している人には重要な問題。木が植わっていると歩道が狭く通行の邪魔になる。自転車や通行人の行き来をする歩道の1/3ほどの幅をイチョウの木がとっている。また落ちた葉は滑って事故の元になる。
会長	今の委員のご意見は事務局で聴取して検討するというご意見をお願いしたい。
委員	今の話ひとつとっても、環境部がいかにか他の課と絡むかがわかる。たとえば美観だけで考えれば観光課が紅葉や花などを考える。一方で生活している人たちのことは福祉の課、環境遵守の課と連携する。また常緑樹や落葉樹というのが温暖化対策の面でどちらがいいかという検討もある。つまり何に軸足を置いて、どのように検討するか、様々な視点から考える必要がある。様々な課と関係してやる必要がある。様々な視点で何を優先して所沢を運営していくのかというところ。
桑原部長	今の意見については、市役所の事業は一部署でどうにかできるものではございません。しっかりと検討していきたいと思っております。
委員	<p>委員が提起したように、交通手段が不便で買い物や病院に行きにくいといういわゆる“難民“という老人が増えている。そこで、この対応の部分で「今後調査研究していきます」となっている。我々はこれを見てやってくれるのかなと思う。しかし、実際は部署間の調整で難しいなどということだと書いてある意味がない。今後どのように取り組みを行ったか、行ってきたかをどう伝えてくれるのか教えてほしい。</p> <p>それから、p.33 循環型社会のごみの問題について、市民はなるべくごみを出さないように、事業者も同じですと。これは当たり前のこと。私が気になるのはアパートなどの共同のごみ集積所に何週間も残っているごみがあったりする。これはなんなのか。計画を作っても実際はごみが散乱している。環境問題は難しいなと思った。</p> <p>この計画はごみの収集について記述されていないが、最近はおみのごみ収集時間が遅い気がする。これはこの計画の中に入るのか入らないのか。以上2点をお聞きしたい。</p>

大舘課長	<p>ごみ収集については、一般廃棄物処理基本計画がございます。その関係で収集等については、そちらの計画に記載されております。今のご意見については、少し解答させていただきます。</p>
大野課長	<p>資源循環推進課です。ごみ収集関係については、廃棄物減量等推進審議会で審議しております。ごみ収集の現状について、ご説明させていただきます。単身のマンションでは分別状態が悪い例が多いことを認識しております。実際、若者にどうやったら分別をうまくやってもらえるかというのが懸案でございます。</p> <p>そこで、市では、スマホのアプリケーションで、お住まいの地区のごみ回収の種類を前日と当日に知らせる機能を持った「分けトコっ！」を春からはじめております。これまでに3500件ほどDLをいただいております。市内のどなたでも使ってもらえるようになっております。</p> <p>これにとどまらず、集積所で分別が悪いものは担当者から管理者に指導もしております。</p> <p>収集の時間は、8:30までに出して頂くようにお願いしておりますが、市内には約9000件の集積所があり、ごみ量などで時間が前後するため必ずしも毎回決まった時間に収集できるわけではございません。</p>
委員	<p>ごみを出す人に問題ある。誰かがやってくれるとか、そういう考えの人がいるから現状がある。今日は教育委員会の先生は欠席されているが、今の現状を踏まえると家庭生活や学校などに今のような話をどのように反映するか。教育という部分でも環境は重要な役割がある。環境部は真剣にどういうセクションとどういう調整をするかを考えてもらって、今の問題をどのように解決していくのか。所沢市をどうつくっていくのか、環境部には大きな役割があると思う。</p>
委員	<p>p.44 樹林地の適切な維持管理の箇所「生物多様性の維持管理」と具体的に入れてほしい。また、保全管理に関する知識についても「生物多様性の知識」として頂きたい。それから、p.48「ホテルなどが生息でき」とホテルを入れていただいてありがたいが、「ホテルやミヤコタナゴなど」としてください。P.49も同様に「ホテルやミヤコタナゴなど」としてください。なぜなら、p.84にミヤコタナ</p>

	<p>ゴが種の保存と将来の野生復帰と書いてあるのでそれを先取りして列記して頂きたい。</p> <p>それから、p.52「狭山丘陵では」とあるが「狭山丘陵や平地林」として頂きたい。オオタカは狭山丘陵のみに生息しているわけではないため。</p>
事務局	<p>いただいたご意見を踏まえ修正を検討いたします。</p>
委員	<p>この基本計画の中に、例えば自転車が出てくるが、所沢はすべてが平坦ではない。山口にいと坂が多いところだとよく言われる。西武球場に向かう道は40年も前からもっと広げてほしいという話がある。ガードレールは一人通れるか。道路そのものを拡幅できなければ一方通行にするとか、新しいものを考えるだけでなく、あるものでどう考えるか。この計画は、市全体で一律こうした方がいいというのが基本計画なのか、各論で固有名詞で色々いれるのがいいのか。これを入れるべきかどうか。そこが難しさかと思う。</p> <p>それと市民の方に親しみを持って見てもらえるかは、委員の言うとおりにビジュアル化だと思う。文章を読んでも専門的な人でないについていけない。総合計画の審議ではもう少しがさっとしている。そのレベルで作っていかないと、専門的に作り上げたいという思いがあるとは思いますがそれを実践するのは、我々含めて声無き一般市民である。専門的な議論もいいが、もう少し圧縮して分かりやすく。</p> <p>自転車を推進するためには、環境部が関係課に常にアクションできるような仕組みを作る。そうしないと会議は踊るだけでまとまらない。これを含めて答申の際には、ぜひ、よろしく願いたい。</p>
会長	<p>極めて重要な意見でしたので検討をお願いしたい。他に無ければ次の議題に移ります。その他として事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>今後スケジュールについて事務局から、参考資料として策定スケジュールを配布した。</p> <p>今回審議会の結果を関係各課と調整した後、岡田会長に内容を確認頂き、12月にはパブリックコメント案としてとりまとめ、1月に実施を予定しております。パブリックコメント実施時には、各委員にパブリックコメント案を送付させていただきます。1月下旬にいただいたご意見の対応ということで各委員にもご確認いただき、</p>

	<p>最終的に会長に答申案を決定していただきます。また、2月中旬ごろ、岡田会長、毛利副会長から市長に対し答申案の提出をいただく予定でございます。その後、写真やイラストを盛り込んだものを原案として作成いたします。今後のスケジュールは以上でございます。</p>
会 長	<p>パブコメ後の対応については事務局と協議の上、2月中旬に答申書を提出する予定ですがよろしいでしょうか。</p> <p>(全員承認)</p>
会 長	<p>他に無ければ審議を終了させていただきます。今回は全員が集まる最後の会なので一言ずつ感想などをお願いいたします。</p>
委 員	<p>4回出席した。所沢の西の田舎に住んでいる。先ほどもごみの問題の話があったが、私どものところでは20数軒で小屋を建てた。そこで網を張ってカラスの対策をしている。一番の問題は、そこを利用する人たちをその場に集めて説明することで、何度か実施した。</p> <p>書面を出しても読まない人がほとんど。そういう意味でそこからごみ問題は解決できるかなと思う。色々勉強になった。ありがとうございます。</p>
委 員	<p>所沢市の審議に始めて参加した。大変勉強になった。私事だがエコプロダクツ展に出展するので案内をお配りします。興味がありましたらよろしく願います。どうもありがとうございました。</p>
委 員	<p>私は毎日泥だらけになって所沢の田舎で活動している。12月の第3日曜日にくぬぎ山地区自然再生協議会というのがあり、大人・子どもも含めて前回は130人ほど参加し、生物多様性の森作りをしている。参加者に合わせたメニューもたくさん用意している。150haの森を国、県、市の協力も受けながらみんなで守っている。ぜひ参加してください。</p>
委 員	<p>今日の話にもあったが、作ったものが出来上がり、その後どうなっていくかが重要。</p> <p>チェックする役割を審議会の関係者にも持ってもらったほうが</p>

	<p>いいのではないか。できるだけそういう方向で進捗をまとめて還元してもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>環境問題は手間がかかるのでそれをみなさんにどうやってもらうかということと、プラス教育。例えば歩道上は自転車が走ってはいけないということを知らなかったりする。これは教育の問題であるので、なるべく多くの人に知ってもらえるように工夫してもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>以前から環境問題に関心があった。今回体系的に勉強できて感謝している。大いに今後も期待したい。所沢市の環境問題は市域とかではなく、壁のないものだと思う。教育も大事だという話もあるので近隣の市町村など連携できるところと手を広げて協力するようにして行ってほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>計画書ができるということで解散するのがもったいない。作られたものにどういう変化していくのか。また、計画が実際に動いたのかどうかということが皆さんの目にも留まると思う。その中で意見をまとめていって、PDCAのサイクルに当て込んでいくことも必要だと思う。</p> <p>皆さんお忙しいが、こういう会議を続けていくことも必要かなと思う。これを作ったらいかに実行して、変えていくかという努力が必要だと思う。4回にわたって貴重な意見が聴けて勉強になった。市の皆様にも口はばかり厳しいことを申ししたが、環境をいかに改善していくかという思いからなのであしからず。</p>
<p>委員</p>	<p>私は埼玉県地球温暖化防止活動推進委員の立場で参加した。日常的には中小企業の環境の視点からの経営指導している。所沢には中小企業が1万社弱ある。平均30~40人程度の社員がいて、多くの人が中小企業で働いている。中小企業の人が行動すれば環境マインドが根付くのではと考えている。</p> <p>中小企業が活性化すれば地域も活性化するのではということでエコマネーの提案もさせて頂いた。これはエコの視点ではなく、いろいろな主体が行政サービスで行き届かない部分を担うことで、市が元気になるのではと思っている。</p> <p>今回参加させていただいてうれしく思っている。ありがとうございます</p>

<p>委員</p>	<p>いました。</p> <p>所沢の環境行政にかかわる一員として昨年度はエコタウン構想、今年度は環境ネットワーク会議、それから環境審議会と関わった。基本計画は東日本大震災前に策定されたもので、震災後近隣市町村よりいち早く改訂に取り組んできている。放射能など様々な問題を盛り込もうということで事務局のほうで取り組まれたのではと思う。温暖化対策にあたって現状が定まらない中での計画づくりということで、困難もあったと思うが、各委員の意見を参考にして、いい形にまとめていったのかと思う。</p> <p>ただ、多くの方から市民がこれを読んで自分たちのものにできるかどうかという話が出たが、パブリックコメントもあるので概要版は簡単にしてなるべく多くの方から意見が出るようにしてもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>川を見ると昔のような合成洗剤の泡のような汚さはないけれど、実は湧水が減っているといろいろな問題はある。法的な規則だけでは環境が守れないという現実をだんだんと理解してきた。今回は、マチごとエコタウンところざわ構想を盛り込むということで、最初は漠然としたイメージだった。しかし段々と市民を引き込んだものになっていくというイメージになってきた。今、様々な活動に参加する市民が増えている。前以上に環境に興味を持つ人が増えているのは良いこと。</p> <p>すばらしい自然に触れられる素敵な場所だと思ってもらいたい。一方で通行に危険な道があるなど課題も見えてきた。</p> <p>先日、市民レベル・自治会レベルで生ごみの話をした。環境推進委員の方にたくさん来てもらったが地区ごとに温度差があると感じた。私の地区ではごみ拾いの日に袋を配る程度のイメージだが、真剣にごみについて考えている人が多いことに驚いた。ごみは対面で話すとどうしたらいいのか学びあえる。アプリも使っている。一人ひとりが気がつく良い機会になる。市にもアイデアを出して頑張ってもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>所沢市環境基本計画のは環境政策の最上位だと思う。ところが一般の市民の方だとエコタウン構想とどちらが優先されるのか分からない。その他、廃棄物や緑の基本計画なども別なのか。環境基本</p>

	<p>計画で細かく決めてやろうとしすぎなのではないか。</p> <p>所沢市が何をしたいのかの方向性が見えるのが基本計画であって、その中でここまで細かいことを見ないといけないのかなというように思った。第3期のときはその階層立てをまた議論した方が市民の方にも分かりやすいのではと感じた。事業者の立場から協力できることをしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>環境に対しての皆さんの熱き思いを聞いた。先ほど委員からもあった集積所、分別についての話があったが、環境を理解してもらうには社会教育等を通し、いろいろな場面でのモラル構築、高いレベルで環境を考えていくということが少しでも進んだのではないかと。市民は「～しましょう」から「～します」に置き換えられた。</p> <p>市民がやっていかないといけない。</p> <p>行政からも社会教育、学校教育やHPなどを通じて、市民目線で市民の言葉で所沢市の環境行政を発信して行ってほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。北は北海道、南は大東島までいろいろな委員会に出席している。この所沢の委員会に出て、みなさんの思いの強さと見識の深さに感銘した。すばらしい委員会になった。ただ、それがまとまった後にどうなったのかというフォローアップが重要。</p> <p>私が思いついて発言するものだが、今200人以上の授業を持っているが、学生にフォローアップする事務局をやらせて、各委員の方のご意見をもう一度伺うということをやってはどうか。こんな有意義な話を学生が聞かないのは損。皆さんの見識を学生にインプットすることのご協力をお願いすることもあるかと思しますのでその節はよろしくお願ひしたい。</p>
<p>桑原部長</p>	<p>5ヶ月の間、忌憚りの無いご意見ありがとうございました。様々なご意見を頂いたが、環境はあらゆる分野の根幹となるものということ行政は認識しておりますが、それを分かりやすく、タイムリーに情報発信することには巧みではありません。</p> <p>行政は計画を作っても単独では実施できませんので、だからこそ市民や事業者、NPO、大学など様々な団体とどう協力するかを考えるべきです。</p> <p>震災後に改訂するというところで、エネルギーや放射線の影響につ</p>

	<p>いて意見をいただいたと聞いております。また、身近な地域の環境問題についても話がございました。関係部署と協力して解決していきたい思います。</p> <p>環境基本計画は、未来の子どもたちに何を残すか、自信を持って未来に残したい環境を基本計画を実施する中で実現していきたい。</p> <p>一歩でも進めることが恩返しとっております。今後とも宜しくお願いします。</p> <p>閉会</p>
--	---